

尾道市立大学 2025（令和7）年度 卒業生の就職状況について

就職状況

2025年度卒業生の就職率（就職希望者のうち、就職し得たもの）は98.3%（昨年度98.5%）、内定者数は281名（昨年度269名）となっています。

学科別の状況は、次のようになっています。

	卒業生	就職希望者	就職者	就職率
経済情報学科	229	207	203	98.1%（前年度 99.0%）
日本文学科	54	49	49	100.0%（前年度 97.9%）
美術学科	53	30	29	96.7%（前年度 95.8%）
合計	336	286	281	98.3%（前年度 98.5%）

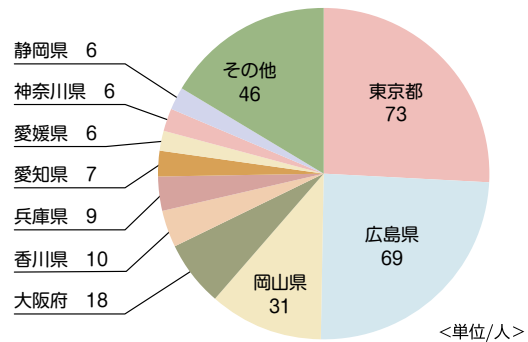
経済情報学科 98.1%

日本文学科 100.0%

美術学科 96.7%

(1) 地域別動向

就職先を地域別にみると、127名が広島県・岡山県等の中国四国地域へ就職をしており、全体の45.2%（昨年度42.8%）を占めています。また、大都市圏への就職者数については東京都73名（昨年度62名）、大阪府18名（昨年度18名）と、全体の32.4%（昨年度29.7%）を占めています。これは、尾道市を含む中国・四国各地域の発展に貢献できる人材を輩出するだけでなく、大都市圏でも活躍できる人材を育成するという就職支援の方針として取り組んできた結果です。



(2) 業種別動向

業種別の就職先では、卸・小売業（16.7%）、情報通信業（13.2%）、製造業（12.5%）、その他のサービス業（9.6%）で5割以上を占めています。

学科別にみると、経済情報学科は、卸・小売業、情報通信業、製造業、その他のサービス業が上位を占めています。日本文学科は、卸・小売業、学校教育・学習支援業の他、公務、飲食店・宿泊業やその他のサービス業が上位を占めています。美術学科は、製造業の他、グラフィックデザイナーなど自らの専門性を活かした分野への進出が見られます。

